

鹿児島労働局発表  
令和8年4月13日

報道関係者 各位

担当	鹿児島労働局労働基準部健康安全課 課長 秋山 芳徳 地方労働衛生専門官 太良木 則孝 (直通電話) 099-223-8279
----	---

## 令和7年の労働災害発生状況（確定値）

### ～死亡災害が過去最少～

#### 令和7年の労働災害（確定値）

○死亡者数 11人（前年19人・対前年比42.1%減）

○休業4日以上之死傷者数 2,235人（前年2,157人・対前年比3.6%増）

※数値は、すべて新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの

鹿児島県内における令和7年の労働災害による死亡者数（以下「死亡者数」という。）は11人（前年比8人・42.1%減）と過去最少でした。一方、休業4日以上之死傷者数（以下「死傷者数」という。）は2,235人（前年比78人・3.6%増）となり、増加傾向に歯止めがかからない状況が続いています。

令和7年の労働災害発生状況を業種別にみると、次のとおりです。

死亡者数	建設業 4人（前年6人）	死傷者数	保健衛生業 417人（前年364人）
	清掃・と畜業 3人（〃0人）		製造業 413人（〃392人）
	農林業 2人（〃2人）		建設業 312人（〃316人）
	製造業 1人（〃6人）		商業 296人（〃278人）
	商業 1人（〃0人）		運輸交通業 219人（〃207人）

【資料3】

労働災害の要因別では、転倒や腰痛（動作の反動・無理な動作）といった行動災害（労働者の作業行動に起因する労働災害）が多くみられます。

事故の型別	転倒	579人（前年548人）
	墜落・転落	408人（前年405人）
	動作の反動・無理な動作	372人（前年343人）
	はさまれ・巻き込まれ	206人（前年225人）
	切れ・こすれ	127人（前年136人）

【資料4】

年齢別でみると 60 歳以上の割合が 35.0%を占め、特に「転倒災害」では、60 歳以上の割合が 52.8%とその傾向が顕著になっています。

年齢別	60 歳以上	782 人 (35.0%)
	50 歳以上 60 歳未満	497 人 (22.2%)
	40 歳以上 50 歳未満	375 人 (16.8%)

【資料 4】

事故の型別	転倒	60 歳以上の割合	52.8%
	墜落・転落	同	37.0%
	動作の反動・無理な動作	同	26.1%

【資料 5】

第 14 次労働災害防止計画（令和 5 年度～令和 9 年度）では、労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策など 8 つの重点対策に取り組み、死亡者数は毎年 10 人以下、死傷者数は増加傾向に歯止めをかけ、令和 4 年（2,090 人）と比較して減少させることを目指しているところです。

しかし、死亡者数は過去最少となったものの、死傷者数は平成 31 年（令和元年）以降 2,000 人を超え、増加傾向に歯止めがかからない状況となっています。

鹿児島労働局では、今後も高年齢労働者の災害防止対策を含む労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策を推進するほか、墜落・転落災害対策等を推進することにより、労働災害の防止に努めてまいります。

#### 【添付資料】

- 資料 1 令和 7 年の労働災害発生状況
- 資料 2 年別・業種別労働災害発生状況（平成 28 年～令和 7 年）
- 資料 3 令和 7 年 業種別死傷災害発生状況
- 資料 4 令和 7 年 業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況
- 資料 5 令和 7 年 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況
- 資料 6 令和 7 年 死亡災害事例

# 令和 7 年の労働災害発生状況

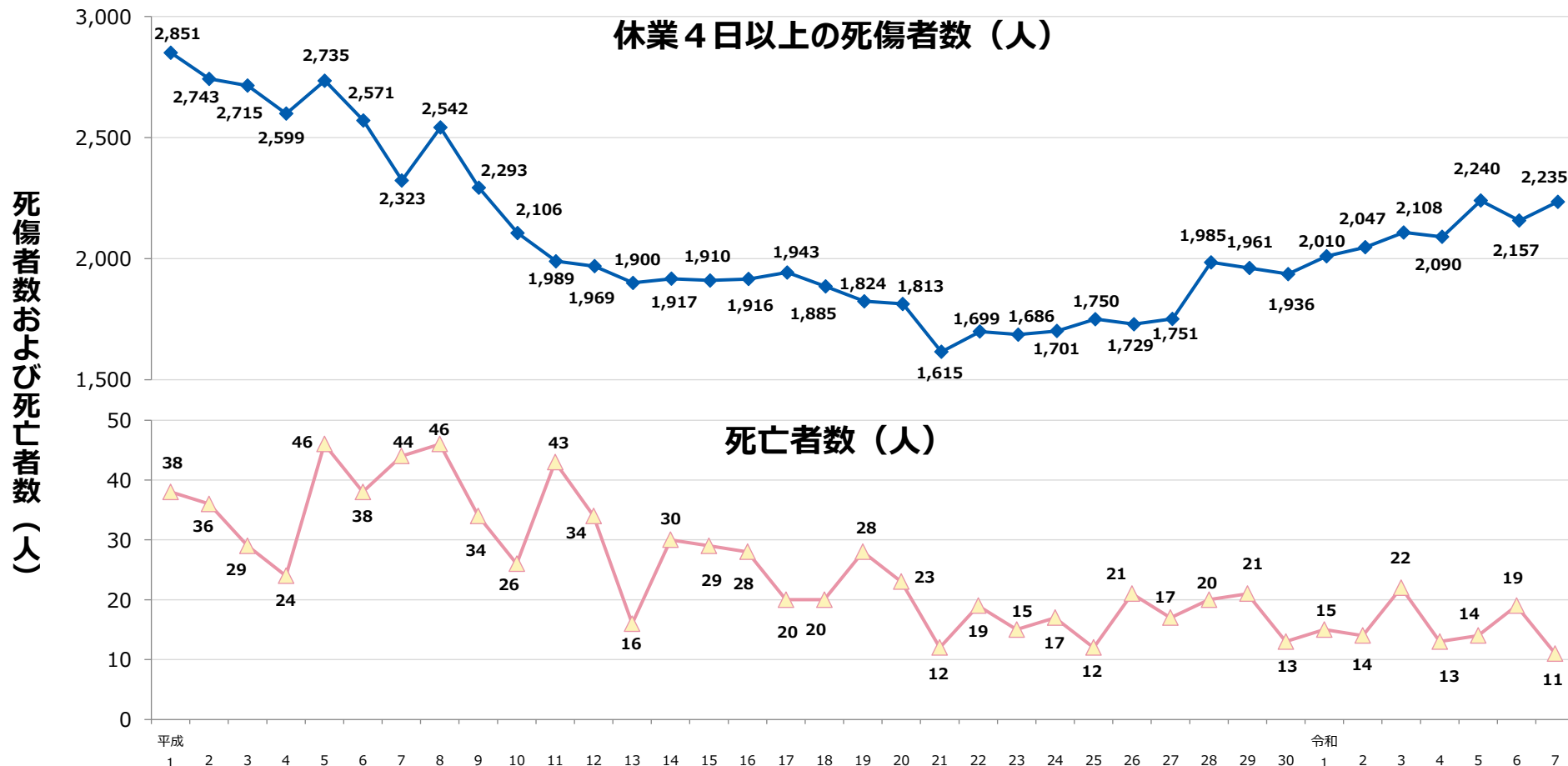
令和 8 年 4 月 13 日公表

鹿児島労働局労働基準部健康安全課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

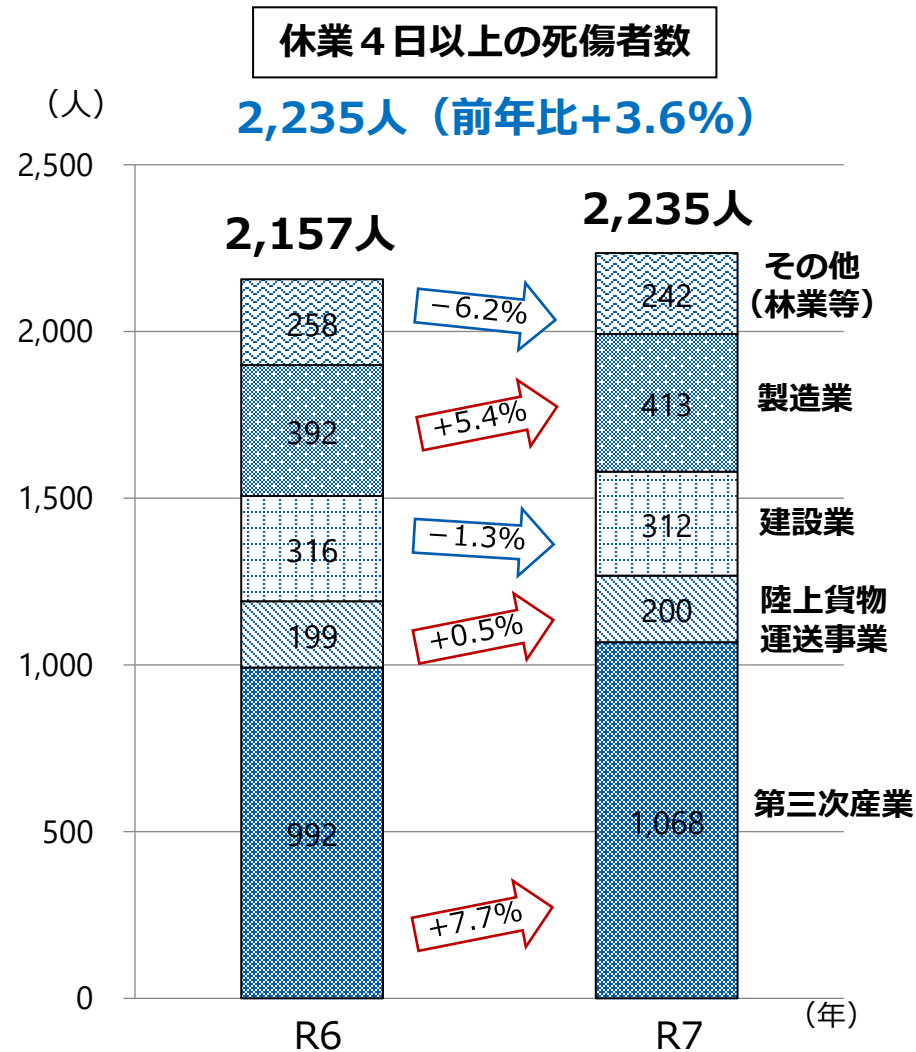
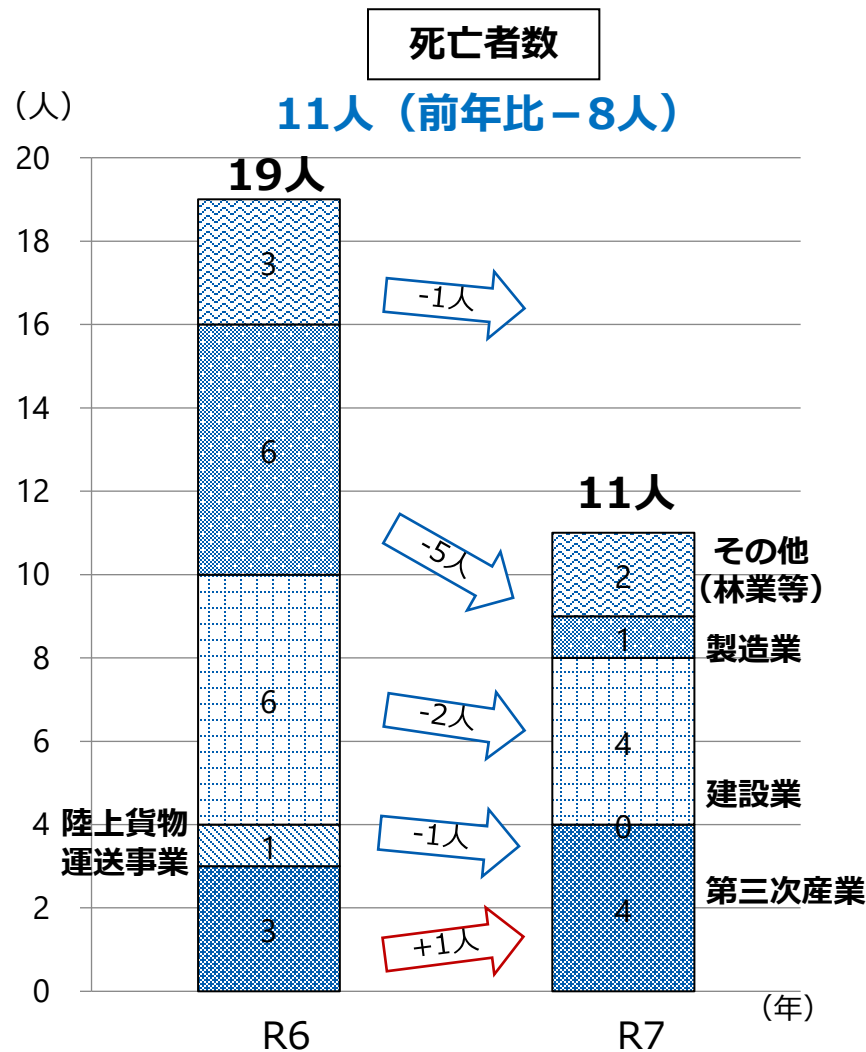
# 鹿児島県における労働災害の推移

- 死亡者数、休業4日以上之死傷者数ともに、長期的には減少傾向にあるものの、死亡者数は近年増減を繰り返し、休業4日以上之死傷者数は近年増加傾向に転じている。



出典：労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成  
 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの

# 令和7年 労働災害発生状況（業種別）

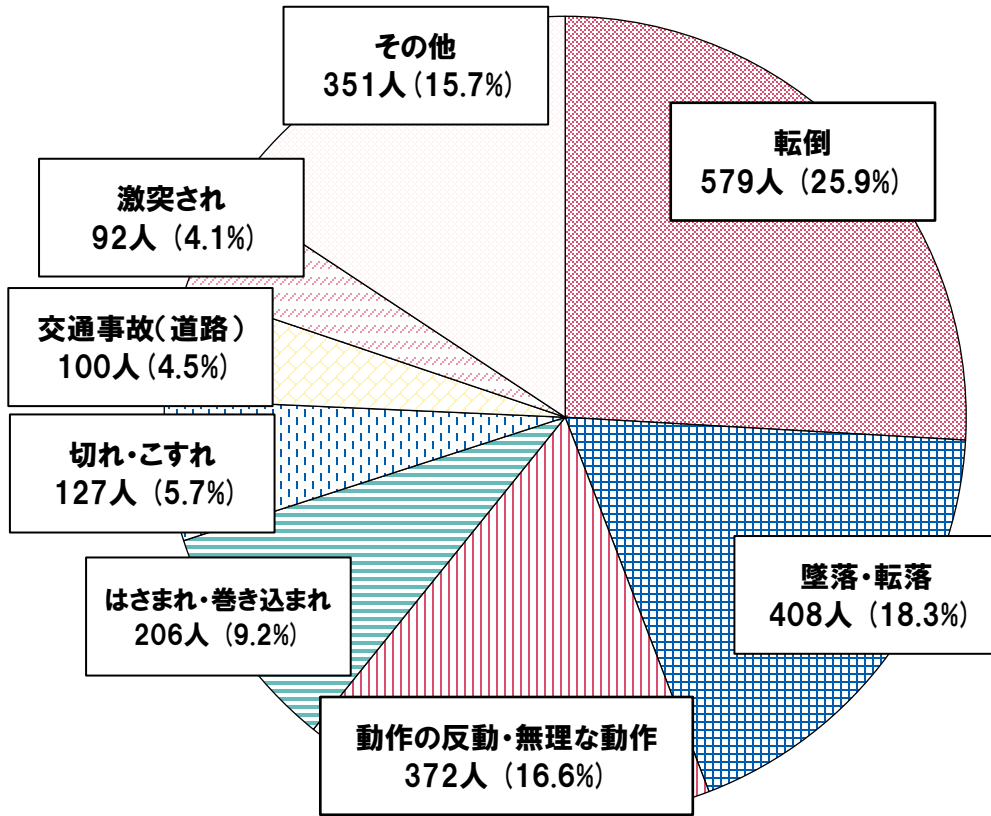


出典：労働者死傷病報告

\*新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの

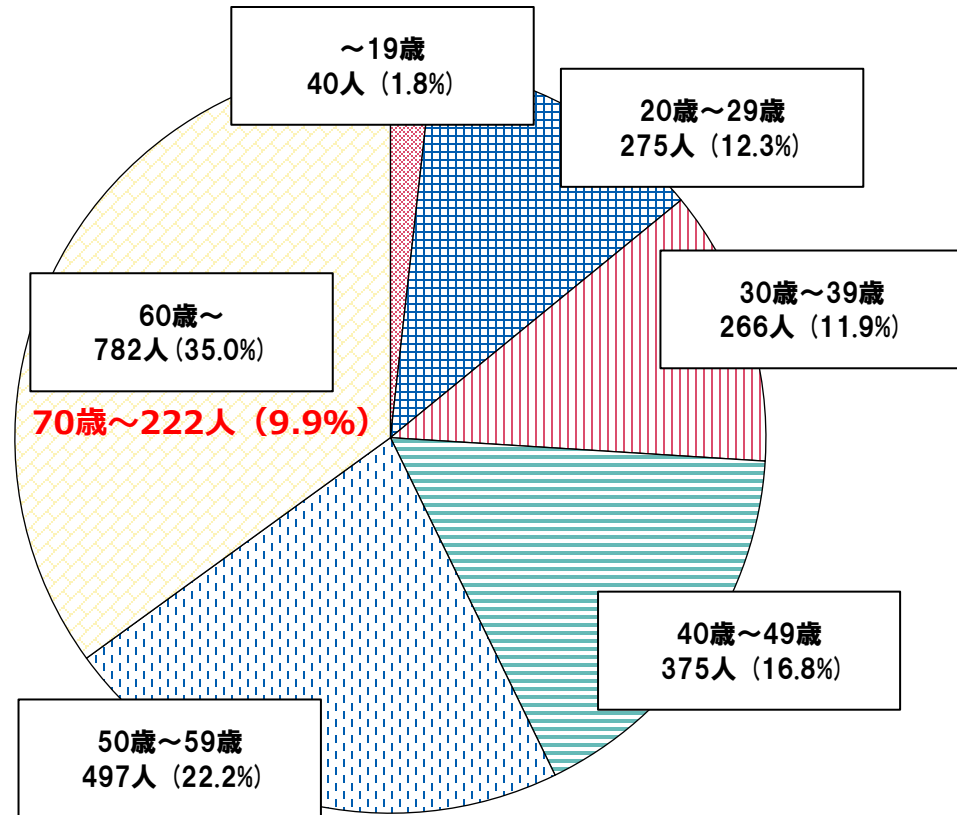
# 令和7年 労働災害発生状況（事故の型別・年齢別）

事故の型別



休業4日以上之死傷者数

年齢別



出典：労働者死傷病報告

\* 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの

年別・業種別労働災害発生状況（平成28年～令和7年）

資料2

業種	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
<b>全産業（死亡）</b>		<b>1,985</b> (20)	<b>1,961</b> (21)	<b>1,936</b> (13)	<b>2,010</b> (15)	<b>2,047</b> (14)	<b>2,108</b> (22)	<b>2,090</b> (13)	<b>2,240</b> (14)	<b>2,157</b> (19)	<b>2,235</b> (11)
<b>1 製造業</b>		<b>382</b> (2)	<b>377</b> (1)	<b>370</b> (1)	<b>385</b> (2)	<b>378</b> (2)	<b>370</b> (2)	<b>376</b> (4)	<b>440</b> (4)	<b>392</b> (6)	<b>413</b> (1)
1 食料品製造業		235 (1)	236 (1)	212	224 (1)	211	206	228	254 (3)	248 (4)	252
4 木材・木製品製造業		20	26	25	32	20	25	23	21	24 (1)	20 (1)
9 窯業土石製品製造業		15	19	22	15 (1)	19	19	20	22	16 (1)	14
11～12 金属製品製造業		19	30	22	32	27 (1)	24	21	30	28	21
13～15 機械器具製造業		28	21	24	24	45	37 (1)	30	43	36	37
上記以外の製造業		65 (1)	45	65 (1)	58	56 (1)	59 (1)	54	70 (1)	40	69
<b>2 鉱業</b>		<b>5</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>2</b> (1)	<b>6</b>	<b>9</b>	<b>3</b>	<b>7</b>
<b>3 建設業</b>		<b>314</b> (4)	<b>312</b> (8)	<b>294</b> (4)	<b>312</b> (6)	<b>302</b> (3)	<b>295</b> (5)	<b>283</b> (5)	<b>304</b> (3)	<b>316</b> (6)	<b>312</b> (4)
1 土木工事業		129 (2)	118 (2)	104 (2)	116 (1)	109 (2)	117 (3)	113 (3)	102 (1)	114 (5)	122 (3)
2 建築工事業		148 (1)	143 (4)	162 (2)	159 (4)	159 (1)	131 (1)	137 (1)	150 (1)	151 (1)	145 (1)
3 その他の建設業		37 (1)	51 (2)	28	37 (1)	34	47 (1)	33 (1)	52 (1)	51	45
<b>4 運輸交通業</b>		<b>211</b> (2)	<b>189</b> (4)	<b>222</b>	<b>193</b> (1)	<b>215</b> (2)	<b>222</b> (2)	<b>200</b> (2)	<b>211</b> (1)	<b>207</b> (1)	<b>219</b>
1 鉄道・航空機業		8	11 (2)	10	7	7	10	5	5	2	5
2 道路旅客運送業		27	16	24	6	14	17	8	17	16	20
3 道路貨物運送業		175 (2)	161 (2)	187	178 (1)	194 (2)	193 (2)	186 (2)	189 (1)	189 (1)	193
4 その他の運輸交通業		1	1	1	2		2	1			1
<b>5 貨物取扱業</b>		<b>22</b>	<b>32</b> (1)	<b>20</b>	<b>34</b>	<b>14</b>	<b>17</b>	<b>29</b>	<b>22</b>	<b>24</b> (1)	<b>23</b>
1 陸上貨物取扱業		10	10	8	8	4	3	11	11	10	7
2 港湾運送業		12	22 (1)	12	26	10	14	18	11	14 (1)	16
<b>6 農林業</b>		<b>100</b> (5)	<b>103</b> (1)	<b>87</b> (3)	<b>104</b> (2)	<b>104</b> (2)	<b>97</b> (5)	<b>98</b> (2)	<b>106</b> (1)	<b>103</b> (2)	<b>114</b> (2)
1 農業		43	55	39 (2)	47 (1)	53	44 (2)	48	62	54 (1)	68 (1)
2 林業		57 (5)	48 (1)	48 (1)	57 (1)	51 (2)	53 (3)	50 (2)	44 (1)	49 (1)	46 (1)
<b>7 畜産・水産業</b>		<b>84</b> (1)	<b>104</b> (2)	<b>94</b> (1)	<b>101</b>	<b>101</b> (1)	<b>112</b> (1)	<b>119</b> (1)	<b>111</b>	<b>120</b>	<b>79</b>
<b>8 商業</b>		<b>258</b> (4)	<b>251</b> (1)	<b>268</b>	<b>280</b> (1)	<b>269</b> (3)	<b>277</b> (2)	<b>295</b> (2)	<b>293</b> (2)	<b>278</b>	<b>296</b> (1)
<b>9 金融・広告業</b>		<b>23</b>	<b>23</b>	<b>18</b> (1)	<b>15</b>	<b>17</b>	<b>25</b>	<b>15</b>	<b>23</b>	<b>16</b>	<b>21</b>
<b>11 通信業</b>		<b>14</b>	<b>18</b>	<b>23</b>	<b>19</b>	<b>33</b>	<b>21</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>21</b>	<b>32</b>
<b>12 教育・研究業</b>		<b>19</b>	<b>20</b>	<b>18</b> (1)	<b>22</b>	<b>18</b>	<b>29</b>	<b>31</b>	<b>30</b>	<b>14</b>	<b>23</b>
<b>13 保健衛生業</b>		<b>290</b>	<b>281</b>	<b>282</b>	<b>288</b>	<b>333</b>	<b>372</b>	<b>355</b>	<b>387</b>	<b>364</b> (1)	<b>417</b>
1 医療保健業		111	109	128	114	123	144	141	149	144 (1)	167
2 社会福祉施設		176	166	146	171	202	222	207	226	212	241
3 その他の保健衛生業		3	6	8	3	8	6	7	12	8	9
<b>14 接客娯楽業</b>		<b>137</b>	<b>115</b>	<b>105</b> (1)	<b>118</b>	<b>103</b>	<b>119</b>	<b>109</b>	<b>112</b> (1)	<b>116</b>	<b>117</b>
1 旅館業		28	27	22	30	26	23	33	25 (1)	31	33
2 飲食店		73	60	50	60	44	60	55	66	64	59
3 その他の保健衛生業		36	28	33 (1)	28	33	36	21	21	21	25
<b>上記以外の事業</b>		<b>126</b> (2)	<b>130</b> (3)	<b>130</b> (1)	<b>137</b> (3)	<b>157</b> (1)	<b>150</b> (4)	<b>149</b> (1)	<b>167</b> (2)	<b>183</b> (2)	<b>162</b> (3)
10 映画・演劇業								1			
15 清掃・と畜業		67 (1)	70 (2)	74 (1)	78 (2)	76	82 (4)	85	89	100	92 (3)
16 官公署		1		1	1	2		3			1
17 その他の事業		58 (1)	60 (1)	55	58 (1)	79 (1)	68	61 (1)	77 (2)	83 (2)	69
<b>陸上貨物運送事業（4-3-5-1）</b>		<b>185</b> (2)	<b>171</b> (2)	<b>195</b>	<b>186</b> (1)	<b>198</b> (2)	<b>196</b> (2)	<b>197</b> (2)	<b>200</b> (1)	<b>199</b> (1)	<b>200</b>
<b>第三次産業（8～17）</b>		<b>867</b> (6)	<b>838</b> (4)	<b>844</b> (4)	<b>879</b> (4)	<b>930</b> (4)	<b>993</b> (6)	<b>979</b> (3)	<b>1,037</b> (5)	<b>992</b> (3)	<b>1,068</b> (4)
<b>平成28年に対する指数</b>	<b>死傷者</b>	<b>100.0</b>	<b>98.8</b>	<b>97.5</b>	<b>101.3</b>	<b>103.1</b>	<b>106.2</b>	<b>105.3</b>	<b>112.8</b>	<b>108.7</b>	<b>112.6</b>
	<b>死亡者</b>	<b>100.0</b>	<b>105.0</b>	<b>65.0</b>	<b>75.0</b>	<b>70.0</b>	<b>110.0</b>	<b>65.0</b>	<b>70.0</b>	<b>95.0</b>	<b>55.0</b>

※（ ）内の数字は、死亡者数で内数である。  
※ 指数は、平成28年を100とする。

※ 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害は含まれない。

## 令和 7 年 業種別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

業種	年	令和 7 年		令和 6 年		対前年			
						増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		2,235	11	2,157	19	78	-8	3.6%	-42.1%
1 製造業		413	1	392	6	21	-5	5.4%	-83.3%
1 食料品製造業		252		248	4	4	-4	1.6%	-100.0%
4 木材・木製品製造業		20	1	24	1	-4		-16.7%	
9 窯業土石製品製造業		14		16	1	-2	-1	-12.5%	-100.0%
11～12 金属製品製造業		21		28		-7		-25.0%	
13～15 機械器具製造業		37		36		1		2.8%	
上記以外の製造業		69		40		29		72.5%	
2 鉱業		7		3		4		133.3%	
3 建設業		312	4	316	6	-4	-2	-1.3%	-33.3%
1 土木工事業		122	3	114	5	8	-2	7.0%	-40.0%
2 建築工事業		145	1	151	1	-6		-4.0%	
3 その他の建設業		45		51		-6		-11.8%	
4 運輸交通業		219		207	1	12	-1	5.8%	-100.0%
1 鉄道・航空機業		5		2		3		150.0%	
2 道路旅客運送業		20		16		4		25.0%	
3 道路貨物運送業		193		189	1	4	-1	2.1%	-100.0%
4 その他の運輸交通業		1				1			
5 貨物取扱業		23		24	1	-1	-1	-4.2%	-100.0%
1 陸上貨物取扱業		7		10		-3		-30.0%	
2 港湾運送業		16		14	1	2	-1	14.3%	-100.0%
6 農林業		114	2	103	2	11		10.7%	
1 農業		68	1	54	1	14		25.9%	
2 林業		46	1	49	1	-3		-6.1%	
7 畜産・水産業		79		120		-41		-34.2%	
8 商業		296	1	278		18	1	6.5%	
1 卸売業		39		51		-12		-23.5%	
2 小売業		228	1	205		23	1	11.2%	
3 理美容業		4		2		2		100.0%	
4 その他の商業		25		20		5		25.0%	
9 金融・広告業		21		16		5		31.3%	
11 通信業		32		21		11		52.4%	
12 教育・研究業		23		14		9		64.3%	
13 保健衛生業		417		364	1	53	-1	14.6%	-100.0%
1 医療保健業		167		144	1	23	-1	16.0%	-100.0%
2 社会福祉施設		241		212		29		13.7%	
3 その他の保健衛生業		9		8		1		12.5%	
14 接客娯楽業		117		116		1		0.9%	
1 旅館業		33		31		2		6.5%	
2 飲食店		59		64		-5		-7.8%	
3 その他の接客娯楽業		25		21		4		19.0%	
上記以外の事業		162	3	183	2	-21	1	-11.5%	50.0%
10 映画・演劇業									
15 清掃・と畜業		92	3	100		-8	3	-8.0%	
16 官公署		1				1			
17 その他の事業		69		83	2	-14	-2	-16.9%	-100.0%
陸上貨物運送事業（4-3-5-1）		200		199	1	1	-1	0.5%	-100.0%
第三次産業（8～17）		1,068	4	992	3	76	1	7.7%	33.3%

- ① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。  
 ② 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。  
 ③ 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

## 令和 7 年 業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

事故の型別									年齢別				
業種	順位	令和 7 年		人数	割合	令和 6 年		人数	割合	令和 7 年		令和 6 年	
		順位	型別			順位	型別			人数	割合	人数	割合
全産業	1	転倒	579	25.9%	1	転倒	548	25.4%	～19歳	40	1.8%	39	1.8%
	2	墜落・転落	408	18.3%	2	墜落・転落	405	18.8%	20歳～29歳	275	12.3%	223	10.3%
	3	動作の反動・無理な動作	372	16.6%	3	動作の反動・無理な動作	343	15.9%	30歳～39歳	266	11.9%	274	12.7%
	4	はさまれ・巻き込まれ	206	9.2%	4	はさまれ・巻き込まれ	225	10.4%	40歳～49歳	375	16.8%	384	17.8%
	5	切れ・こすれ	127	5.7%	5	切れ・こすれ	136	6.3%	50歳～59歳	497	22.2%	482	22.3%
	6	交通事故（道路）	100	4.5%	6	激突され	97	4.5%	60歳～	782	35.0%	755	35.0%
製造業	1	転倒	102	24.7%	1	転倒	102	26.0%	～19歳	13	3.1%	6	1.5%
	2	はさまれ・巻き込まれ	71	17.2%	2	はさまれ・巻き込まれ	76	19.4%	20歳～29歳	57	13.8%	36	9.2%
	3	墜落・転落	52	12.6%	3	墜落・転落	62	15.8%	30歳～39歳	56	13.6%	61	15.6%
	4	動作の反動・無理な動作	48	11.6%	4	動作の反動・無理な動作	51	13.0%	40歳～49歳	72	17.4%	67	17.1%
	5	切れ・こすれ	41	9.9%	5	切れ・こすれ	39	9.9%	50歳～59歳	90	21.8%	80	20.4%
	6	高温・低温の物との接触	26	6.3%	6	激突され	13	3.3%	60歳～	125	30.3%	142	36.2%
建設業	1	墜落・転落	114	36.5%	1	墜落・転落	119	37.7%	～19歳	6	1.9%	9	2.8%
	2	転倒	40	12.8%	2	はさまれ・巻き込まれ	34	10.8%	20歳～29歳	57	18.3%	48	15.2%
	3	はさまれ・巻き込まれ	31	9.9%	3	転倒	33	10.4%	30歳～39歳	43	13.8%	40	12.7%
	4	切れ・こすれ	25	8.0%	4	飛来・落下	31	9.8%	40歳～49歳	56	17.9%	50	15.8%
	5	交通事故（道路）	22	7.1%	5	切れ・こすれ	29	9.2%	50歳～59歳	43	13.8%	52	16.5%
	6	動作の反動・無理な動作	18	5.8%	6	動作の反動・無理な動作	17	5.4%	60歳～	107	34.3%	117	37.0%
陸上貨物 運送事業	1	墜落・転落	60	30.0%	1	墜落・転落	57	28.6%	～19歳	0	0.0%	5	2.5%
	2	動作の反動・無理な動作	30	15.0%	2	動作の反動・無理な動作	39	19.6%	20歳～29歳	19	9.5%	14	7.0%
	3	転倒	28	14.0%	3	転倒	28	14.1%	30歳～39歳	26	13.0%	22	11.1%
	4	はさまれ・巻き込まれ	24	12.0%	4	はさまれ・巻き込まれ	22	11.1%	40歳～49歳	46	23.0%	55	27.6%
	5	激突され	18	9.0%	5	激突され	14	7.0%	50歳～59歳	49	24.5%	58	29.1%
	6	交通事故（道路）	9	4.5%	6	交通事故（道路）	10	5.0%	60歳～	60	30.0%	45	22.6%
林業	1	飛来・落下	9	19.6%	1	切れ・こすれ	12	24.5%	～19歳	1	2.2%	0	0.0%
	2	激突され	9	19.6%	2	激突され	11	22.4%	20歳～29歳	7	15.2%	8	16.3%
	3	切れ・こすれ	9	19.6%	3	墜落・転落	5	10.2%	30歳～39歳	11	23.9%	8	16.3%
	4	はさまれ・巻き込まれ	6	13.0%	4	転倒	5	10.2%	40歳～49歳	10	21.7%	14	28.6%
	5	墜落・転落	5	10.9%	5	飛来・落下	5	10.2%	50歳～59歳	9	19.6%	11	22.4%
	6	転倒	4	8.7%	6	崩壊・倒壊	2	4.1%	60歳～	8	17.4%	8	16.3%
第三次産 業	1	転倒	382	35.8%	1	転倒	348	35.1%	～19歳	16	1.5%	17	1.7%
	2	動作の反動・無理な動作	252	23.6%	2	動作の反動・無理な動作	213	21.5%	20歳～29歳	102	9.6%	86	8.7%
	3	墜落・転落	141	13.2%	3	墜落・転落	123	12.4%	30歳～39歳	93	8.7%	119	12.0%
	4	交通事故（道路）	58	5.4%	4	交通事故（道路）	63	6.4%	40歳～49歳	166	15.5%	157	15.8%
	5	はさまれ・巻き込まれ	40	3.7%	5	はさまれ・巻き込まれ	47	4.7%	50歳～59歳	270	25.3%	230	23.2%
	6	高温・低温の物との接触	37	3.5%	6	激突	39	3.9%	60歳～	421	39.4%	383	38.6%
小売業	1	転倒	92	40.4%	1	転倒	84	41.0%	～19歳	0	0.0%	8	3.9%
	2	動作の反動・無理な動作	34	14.9%	2	動作の反動・無理な動作	31	15.1%	20歳～29歳	26	11.4%	17	8.3%
	3	墜落・転落	33	14.5%	3	墜落・転落	26	12.7%	30歳～39歳	19	8.3%	21	10.2%
	4	交通事故（道路）	15	6.6%	4	交通事故（道路）	18	8.8%	40歳～49歳	33	14.5%	29	14.1%
	5	はさまれ・巻き込まれ	11	4.8%	5	激突	11	5.4%	50歳～59歳	57	25.0%	44	21.5%
	6	飛来・落下	9	3.9%	6	はさまれ・巻き込まれ	8	3.9%	60歳～	93	40.8%	86	42.0%
社会福 祉施設	1	転倒	93	38.6%	1	転倒	80	37.7%	～19歳	1	0.4%	0	0.0%
	2	動作の反動・無理な動作	80	33.2%	2	動作の反動・無理な動作	73	34.4%	20歳～29歳	16	6.6%	13	6.1%
	3	墜落・転落	21	8.7%	3	墜落・転落	12	5.7%	30歳～39歳	12	5.0%	26	12.3%
	4	激突され	10	4.1%	4	激突され	9	4.2%	40歳～49歳	33	13.7%	40	18.9%
	5	その他	10	4.1%	5	激突	8	3.8%	50歳～59歳	69	28.6%	48	22.6%
	6	激突	8	3.3%	6	切れ・こすれ	8	3.8%	60歳～	110	45.6%	85	40.1%
飲食店	1	転倒	22	37.3%	1	転倒	26	40.6%	～19歳	9	15.3%	5	7.8%
	2	高温・低温の物との接触	11	18.6%	2	切れ・こすれ	10	15.6%	20歳～29歳	9	15.3%	9	14.1%
	3	切れ・こすれ	9	15.3%	3	高温・低温の物との接触	8	12.5%	30歳～39歳	5	8.5%	14	21.9%
	4	墜落・転落	5	8.5%	4	動作の反動・無理な動作	6	9.4%	40歳～49歳	3	5.1%	4	6.3%
	5	動作の反動・無理な動作	5	8.5%	5	墜落・転落	5	7.8%	50歳～59歳	18	30.5%	13	20.3%
	6	激突	3	5.1%	6	激突	3	4.7%	60歳～	15	25.4%	19	29.7%

※事故の型別について・・・上位6位までの型のみを表示しています。

※新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの

## 令和 7 年 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

事故の型別	年齢別	令和 7 年		令和 6 年		令和 5 年	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
転倒	～19歳	3	0.5%	6	1.1%	5	0.9%
	20歳～29歳	34	5.9%	23	4.2%	21	3.8%
	30歳～39歳	31	5.4%	36	6.6%	27	4.9%
	40歳～49歳	70	12.1%	67	12.2%	85	15.3%
	50歳～59歳	135	23.3%	126	23.0%	146	26.3%
	60歳～	306	52.8%	290	52.9%	271	48.8%
墜落・転落	～19歳	3	0.7%	3	0.7%	6	1.5%
	20歳～29歳	41	10.0%	29	7.2%	36	8.7%
	30歳～39歳	38	9.3%	49	12.1%	38	9.2%
	40歳～49歳	82	20.1%	75	18.5%	82	19.9%
	50歳～59歳	93	22.8%	103	25.4%	123	29.8%
	60歳～	151	37.0%	146	36.0%	128	31.0%
動作の反動・無理な動作	～19歳	8	2.2%	6	1.7%	8	2.2%
	20歳～29歳	41	11.0%	46	13.4%	45	12.6%
	30歳～39歳	54	14.5%	56	16.3%	67	18.8%
	40歳～49歳	75	20.2%	69	20.1%	80	22.4%
	50歳～59歳	97	26.1%	79	23.0%	81	22.7%
	60歳～	97	26.1%	87	25.4%	76	21.3%
はさまれ・巻き込まれ	～19歳	6	2.9%	5	2.2%	4	1.9%
	20歳～29歳	43	20.9%	27	12.0%	35	16.9%
	30歳～39歳	35	17.0%	51	22.7%	32	15.5%
	40歳～49歳	29	14.1%	45	20.0%	35	16.9%
	50歳～59歳	35	17.0%	49	21.8%	51	24.6%
	60歳～	58	28.2%	48	21.3%	50	24.2%
切れ・こすれ	～19歳	5	3.9%	5	3.7%	5	3.6%
	20歳～29歳	31	24.4%	26	19.1%	33	23.7%
	30歳～39歳	32	25.2%	25	18.4%	21	15.1%
	40歳～49歳	20	15.7%	22	16.2%	15	10.8%
	50歳～59歳	19	15.0%	20	14.7%	23	16.5%
	60歳～	20	15.7%	38	27.9%	42	30.2%
交通事故（道路）	～19歳	1	1.0%	2	2.3%	6	4.7%
	20歳～29歳	22	22.0%	14	16.1%	15	11.8%
	30歳～39歳	11	11.0%	8	9.2%	20	15.7%
	40歳～49歳	21	21.0%	22	25.3%	24	18.9%
	50歳～59歳	15	15.0%	20	23.0%	23	18.1%
	60歳～	30	30.0%	21	24.1%	39	30.7%

## 令和7年 死亡災害事例

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和7年 2 月	木材・木製品製造業	作業員	男	73	2年	はさまれ・巻き込まれ	フォークリフト	雑木の剪定で発生した枝を運搬するため、スリングベルトで束ねた枝を代表者が操作するフォークリフトで吊り上げた後、被災者は枝が揺れないよう手で支えながらフォークリフトとともに町道を移動していたところ道路上に転倒し、前進してきたフォークリフトに右脚をひかれ、その後死亡した。
2	令和7年 2 月	農業	作業員	女	20	3ヶ月	はさまれ・巻き込まれ	移動式クレーン	サトウキビ畑横の町道付近にて、事業主が前日に刈り取ったサトウキビの積込作業を行うためトラッククレーンのアウトリガーを張り出そうとしていたところ、当該クレーンが前進し始め、補助作業のため近くを通行していた被災者がトラッククレーンのアウトリガーと電柱との間に挟まれたもの。
3	令和7年 4 月	木材伐出業	作業員	男	54	20年	激突され	立木	皆伐作業において、被災者がチェーンソーでヒノキの伐採作業(1人作業)を行っていたところ、当該ヒノキとつるで絡まった別のヒノキが、伐倒したヒノキとともに倒れ、被災者に激突したものの。
4	令和7年 4 月	建築工事業	作業員	男	74	10年	墜落・転落	建築物、構築物	建築物解体工事中、室外機の固定ワイヤー切断の為に建物外周を移動していたところ、被災者は意識が朦朧として隣接する側溝に転落、頭部を負傷し外傷性くも膜下出血と診断され入院。その後入院加療していたところ、令和7年11月18日に死亡したものの。
5	令和7年 7 月	燃料小売業	運転者	男	57	2年	墜落・転落	トラック	エンジンオイルが入ったドラム缶をトラック(最大積載荷重1500kg、テールゲートリフター付き)に積み込む作業を行っていたところ、被災者から同僚に「荷台から落ちて手首を折った。」との連絡があり倉庫に向かったところ、被災者がトラックの助手席で意識朦朧の状態ですずくまっており、救急搬送されたが、9日後に死亡したものの。
6	令和7年 7 月	産業廃棄物処理業	運転者	男	52	7か月	はさまれ・巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機械	被災者は出張作業においてスキッドステアローダーを運転し、養鶏場の鶏糞等の清掃作業に従事していたが、同僚が養鶏場内に入ったところ、スキッドステアローダー車体及びブームの枠に挟まれている被災者を発見したものの。
7	令和7年 8 月	土木工事業	作業員	男	45	20年	はさまれ・巻き込まれ	掘削用機械	砂防ダム新設工事において基礎石(直径60cm、重さ200kg)を法面上部に設置するため、ドラグショベル2台を用いてリレー形式で基礎石を移動させていたが、バケットから地面に降ろした基礎石のひとつが落下しそうになったため避けようと旋回したところ、付近で整地作業を行っていた被災者がドラグショベルのバケットと砂防ダム壁面の間にはさまれたものの。
8	令和7年 8 月	産業廃棄物処理業	作業員	男	76	5年	はさまれ・巻き込まれ	トラック	事業場敷地内において、被災者は単独で、ゴミ収集車(プレス式塵芥収集車)に段ボールを投入する作業を行っていたところ、近くにいた同僚労働者が、ゴミ収集車のプレスプレートに上半身を挟まれた状態の被災者を発見したものの。
9	令和7年 10 月	土木工事業	運転者	男	74	55年	墜落・転落	掘削用機械	令和7年8月の豪雨災害による災害復旧工事現場内において、被災者がドラグ・ショベルを運転して陥没穴の埋戻し作業を行っていたところ、当該陥没穴内にドラグ・ショベルごと墜落し、被災したものの。
10	令和7年 11 月	産業廃棄物処理業	作業員	男	66	0年	墜落・転落	作業床	被災者は、破袋機前方に仮設された作業床上で、ペットボトルのペールを固定しているPPバンドを外し、破袋機の投入口にペットボトルを投入する作業に従事していたところ、作業床から破袋機の投入口に墜落し、回転刃に巻き込まれたものの。
11	令和7年 12 月	土木工事業	技術者	男	71	30年	はさまれ・巻き込まれ	掘削用機械	現場代理人と被災者で測量業務を行っていた。現場代理人が測量結果を記録していたところ悲鳴が聞こえたため、その方向を見ると被災者が接近するドラグショベルのキャタピラの前で倒れており、直ちにドラグショベルを停止させた。被災者が右足と腰部の痛みを訴えたため病院へ搬送したが、3日後に死亡したものの。